

心腔内超音波検査を使用したリードレスペースメーカー留置術の有用性と安全性に関する研究 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年7月30日～2023年3月31日

〔研究課題〕

心腔内超音波検査ガイド下リードレスペースメーカー留置術の有用性と安全性に関する研究

〔研究目的〕

リードレスペースメーカーはリード(電線)を使わない新しいペースメーカーです。手術によるポケット(ペースメーカー本体の入れる空間)の作る必要がないため従来型のペースメーカー留置術に比べてポケット感染などの合併症が少なく、今後普及して行く可能性があります。しかし、リードレスペースメーカーは従来型に比べ、心嚢液貯留(心臓の周りに血液が漏れ出る)が合併症として多く発症することが報告されています。当院ではより安全に手術を行うために心腔内超音波(心臓の中から超音波で心臓の構造を見る機械)を用いてリードレスペースメーカー留置術を行っています。心腔内超音波を使用したリードレスペースメーカー留置術に関する報告はなく、その有用性と安全性について調べることにしました。

〔研究意義〕

この研究をもとにより安全なリードレスペースメーカー留置術が検討される可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2017年9月から2019年3月の診療記録(年齢、性別、既往歴、透視時間、造影剤使用量、合併症の有無、術後30日の予後など)を元に調査が行われます。研究期間は倫理委員会承認後～2023年3月31日までとなります。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 循環器内科

〔個人情報の取り扱い〕

収集された情報は、当院にて厳重に管理され、それを必要とする者のみ閲覧することができます。したがって患者様の医療記録に関する秘密は守られます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてよ

り詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 渡 雄至 (内科学講座 講師)

研究分担者: 宮川睦喜 (内科学講座 助教)

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 30415]